

2019年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月 31日

I 法人本部

【総括】

緑友会は、令和2年3月に設立40周年を迎えました。また、清川ホームは30周年・伊勢原ふたば保育園は20周年の節目を迎え、それぞれにその足跡を記念誌として発行するとともに、清川ホームにおいては感謝状贈呈式を開催し、関係各位の皆様に感謝の気持ちをお伝えさせていただきました。

財政面では、障害者支援施設事業活動の収入の減、昨年度から引き続き保育士不足による入所児童数の減少による収入減というマイナス要因や、国の制度による福祉職員への特定処遇改善の導入等による職員給与費の増等の要因によって、単年度収支額は4年ぶりに赤字に転じましたが、職員の確保を確実に進めることができ、節目というチャンスを着実に地域の方々と共に祝うことができたプラス要因は今後生きてまいります。

その他具体には、記念事業としてみどり園の事務所棟と居住棟の屋上にソーラーパネルを設置して太陽光発電システムを導入するとともに、新電力を活用した省エネルギー対策を実施しました。また、職員確保面では、求人広告・求人サイト利用の向上策の検討、学校訪問等の職員募集対策に取り組んだ結果、多職種にわたり正規・非正規併せて24名採用できるなど、職員採用の一定の成果を上げることができました。今後も引き続き募集対策を強化し職員確保に努めるとともに学びや交流の機会を拡げ、処遇改善や福利厚生の実施を図るなど、より働き甲斐のある職場を目指していくことで離職防止対策に繋げ、利用者、園児、保護者の視点に立った支援に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染による今後の社会経済では甚大な影響が想定されますが、より一層の努力を積み重ね地域福祉に貢献してまいります。

1 評議員会

- 令和元年 6月27日 **【議案】**
- ・平成30年度事業報告及び収入支出決算について
 - ・理事7名の選任について
 - ・監事2名の選任について
- 令和元年11月 7日 **【議案】**
- ・2019年度補正予算（第1号）について
- 【報告事項】**
- ・離職防止対策について
- 令和2年 3月26日 **【議案】**
- ・2020年度事業計画及び予算について（書面による決議）
- （書面開催）

2 理事会

- 平成31年 4月24日 **【議案】**
- ・みどり園の太陽光システム導入に係る随意契約について
- 【報告事項】**
- ・4月1日時点での入所者・園児等の状況について
 - ・第3回評議員会の開催報告について
 - ・清川ホームの開設30周年感謝状贈呈式について
 - ・道路工事について
- 令和元年 5月29日 **【議案】**
- ・評議員選任候補者の推薦について
 - ・評議員選任・解任委員会の開催について
 - ・金融機関からの借入（6月賞与支給等に係る一時借入金）について

- 令和元年 6月12日 **【議案】**
- ・平成30年度事業報告及び収入支出決算について
監査報告
 - ・2019年度定時評議員会の招集について
- 【報告事項】**
- ・評議員選任・解任委員会の開催報告について
 - ・『ひきこもり』に関する事件について
- 令和元年 6月27日 **【議案】**
- ・理事長の選任について
- 【報告事項】**
- ・緑友会の状況説明：平成30年度事業報告(カラー版)について
- 令和元年 7月31日 **【報告事項】**
- ・7月1日時点での入所者・園児等の状況について
 - ・第1回評議員会の報告について
- 令和元年 8月28日 **【議案】**
- ・伊勢原ふたば保育園規則及び本厚木ふたば保育園規則の一部を改正する規則について
- 【報告事項】**
- ・伊勢原市内の障がい者就労事業所について
 - ・介護職員特定処遇改善加算について
- 令和元年 9月26日 **【報告事項】**
- ・第2回評議員会の招集について（事前相談）
 - ・みどり園での利用者ご逝去について
 - ・訴訟について
- 令和元年10月30日 **【議案】**
- ・2019年度補正予算（第1号）について
 - ・2019年度第2回評議員会の開催について
- 【報告事項】**
- ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について
 - ・離職防止対策について
- 令和元年11月27日 **【議案】**
- ・金融機関からの借入（12月賞与支給等に係る一時借入金）について
- 【報告事項】**
- ・第2回評議員会の結果について
- 令和元年12月25日 **【報告事項】**
- ・訴訟について
 - ・県立障がい者施設「津久井やまゆり園」の指定管理者見直し報道について
 - ・本厚木ふたば保育園の指導監査結果について
 - ・職員採用について
 - ・緑友会創立40周年について
- 令和2年 1月29日 **【報告事項】**
- ・1月1日時点での入所者・園児等の状況について
 - ・本厚木ふたば保育園の指導監査（実施11/14）結果について
 - ・みどり園での利用者の逝去について
 - ・県立障がい者施設『津久井やまゆり園』の指定管理者見直し報道について

- 令和2年 2月26日 【議案】
- ・みどり園施設長の任命について
 - ・つくし施設長の任命について
- 【報告事項】
- ・臨時理事会の開催について
 - ・2020年度の理事会開催日程（案）について
- 令和2年 3月11日 【議案】
- ・訴訟について
- 令和2年 3月18日 【議案】
- ・2020年度事業計画及び予算について
 - ・顧問の委嘱について
 - ・2019年度第3回評議員会について

3 代表者会議

理事長、支援部門総括責任者、長塚顧問、加藤理事、総務局長、総務部長、各施設長、医療担当者代表、調理栄養担当者代表を構成員として、毎月（年12回）開催。3月は新型コロナウイルス感染防止対策で書面開催とした。法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な課題等についての協議や事業の報告等を行い、法人全体で共通認識や分析、意思統一を図った。

4 広報戦略会議

理事長、支援部門総括責任者、総務部担当職員3名を構成員とし、年11回開催。広報誌、基本資料（パンフレット）・事業報告の作成、ホームページの見直し及び職員の採用対策などに関して協議を行った。

- ・基本資料作成（みどり園・清川ホーム）
- ・ホームページの改修（トップページの見直し等）
- ・道灌まつり用の顔出し看板の作成
- ・年賀状の作成
- ・各施設・医療担当者会議・調理栄養士担当者会議の事業報告書を作成
- ・求人サイトの点検
- ・職員の採用活動の検討
- ・広報紙 「福祉の輪 広げたい」
 - 第32号（7月発行）：[表紙] 「"きよりゆん"と水の郷大つり橋」
 - 第33号（1月発行）：[表紙] 「"クルリン"伊勢原市公式イメージキャラクター」
- ・法人内職員広報誌「ゆう」
 - V o 1. 0 6（9月発行）
 - V o 1. 0 7（3月発行）

5 表彰委員会

代表者会議の構成員で年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰
 - 30年表彰 1名
 - 10年表彰 2名
- ・表彰日 令和2年3月24日（法人設立日）

6 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者及び職員の健康管理・疾病予防対策、事故予防対策等について協議しその対応を図った。結果として、施設長と共に利用者にあった適切な施設移行への協議・移行、婦人科癌検診項目の整理、職員の腰痛予防研修の開催、栄養士との会議の開催をした。

検討項目

- ・各施設の感染症罹患状況・事故・怪我の報告及びその対策について
- ・高齢化等に伴う利用者の対応、施設移行について
- ・利用者(婦人科検診含む)、職員の健康診断実施方法・項目の確認について
- ・腰痛予防研修の実施、評価
- ・栄養士との会議開催について
- ・事業報告の作成

7 職員交流委員会

各施設から選出した委員6名で組織し、8回開催。法人全体の職員交流会の企画・運営を行った。2019年度は、法人全体の第6回職員交流会を開催した。

【職員交流会】

- ・内容 懇親会(会場:アマンダンヒルズ)
- ・委員長 土屋力重主任調理師(清川ホーム)
- ・開催日 令和元年11月15日(金) 午後7時30分から
- ・参加者 87名(職員78名、家族9名)

8 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名、総務部1名を構成員として6回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。結果として、より効果的な清掃方法の共有やメニューの拡充、災害時の対応強化をすることができた。

検討項目

- ・新メニューの開拓について
- ・厨房、食堂の衛生管理・清掃業務について
- ・行事食について
- ・災害時の食事対応について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・事業報告の作成

9 栄養士会議

栄養士3名、調理員1名を構成員とし、6回開催。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。

検討項目

- ・アレルギー対応食や食形態低下に伴う個別対応について
- ・災害備蓄食料について
- ・栄養素の底上げ・栄養計算について
- ・栄養摂取量の改善について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・各施設間の情報交換
- ・事業報告の作成

10 支援のあり方検討委員会

事業所から推薦された職員6名を構成員とした平成30年度の（仮称）支援のあり方検討委員会準備会を「支援のあり方検討委員会」に改め、今後の緑友会のプラン策定に向けた検討を行った。2019年度は会議を11回開催し、入所施設の課題点、あるべき姿を話し合い、より良いサービス提供について話し合った。

検討項目

- ・事故防止について
- ・離職防止について
- ・利用者の高齢化について
- ・生活環境の向上について
- ・職員の専門性の向上について

11 衛生管理点検

衛生管理委員（非常勤特別職員）により、給食を提供している5施設の調理場等の衛生管理点検を月1回抜き打ちで実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

- ・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園
- ・つくし

12 施設整備等

- ・みどり園太陽光発電システムの導入（太陽光発電パネルの設置）
- ・みどり園食堂内装改修工事

2019年度の課題に対する自己評価

福祉職を中心とした職員確保が困難な状況を踏まえ、保育士や支援員等の確保対策、離職防止対策を更に取り組むとともに、2020年3月24日が法人設立40年の節目となるため、支援のあり方の検討や各事業所の現状の課題や今後の目標などについて検討を行う。

また、理事・監事が改選年度にあたるため、役員体制を整え、経営組織、ガバナンスのさらなる強化、事業運営の透明性の確保に努める。

① 職員の確保および離職防止対策のより一層の検討と実行

⇒ ハローワーク・求人広告・ポスティングの活用、求人サイトとの就職実態情報の共有とサイト利用の向上策の検討、若手の緑友会職員への就職活動ヒアリング、学校訪問等の募集対策に取り組んだ結果、2019年度は正規・非正規併せて、支援員6名、保育士12名、看護師1名、調理員2名、運転員1名、清掃員2名の合計24名を採用できるなど、職員採用の一定の成果を上げることができたが、離職者も11名でたため、年度内の職員増減は13名の増となった。

離職防止対策については、処遇改善検討委員会を開催し、処遇改善手当の見直しを行うとともに、新たに公的（国・市）処遇改善手当を支給したほか、資格手当等の見直しを検討した。また、職員交流会を開催し職員交流を図ったほか、職員向け広報誌「ゆう」を2回発行するなど福利厚生の実を充実を図った。

職員採用の取り組みを平成30年11月の第2回評議員会で報告したことに続き、離職防止対策の取り組みについて昨年の第2回評議員会報告させていただいた。

② 緑友会設立40周年記念事業への取り組み

②-1 みどり園のソーラーシステム導入（太陽光発電パネルの設置）

⇒ 地球温暖化対策等として、みどり園の事務所棟と居住棟の屋上にソーラーパネルを204枚設置し太陽光発電システムを導入するとともに、新電力を活用した省エネルギー対策を記念事業として実施した。

②-2 緑友会福祉プランの策定に向けて（支援のあり方の検討・各事業所の課題と今後の目標等の検討）

⇒ 障がい者入所施設の支援のあり方を検証し、利用者の多様性、高齢化、重度化を踏まえた今後の支援の充実と質の確保に向けた取り組みを検討するため、職員6名で構成する「支援のあり方検討委員会」を設置し、今後の緑友会の福祉プラン策定にむけた検討を行った。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

⇒ 感染防止行動の徹底の周知を行った。

- マスク着用・手洗い・消毒の徹底
- 感染拡大防止対策（密閉・密集・密接の回避、換気の徹底）
- 職員の出勤前の体温計測の実施
- 感染が疑われる職員への対応の周知・徹底

II みどり園

1 指定障害者支援施設 みどり園

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	68	68	68	68	67	67	67	67	66	66	65	65
入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0
30年度 在籍数	69	69	69	69	69	69	68	68	68	68	67	67

(2) 生活介護通所者数 (入所利用者以外の通所による生活介護の利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
30年度 在籍数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(3) 行事

4月 1日	開園記念式
5月 23日 ~24日	一泊旅行 (鬼怒川方面)
5月 30日 ~31日	一泊旅行 (伊豆稲取方面)
6月 18日	つくし衣類訪問販売
7月 5日・7日	平塚七夕祭り
7月 20日	サマーフェスティバル in 清川ホーム
8月 24日	納涼祭
8月 24日	地引網
9月 1日	向上高校こゆるぎ祭
9月 28日	伊勢原市障害者スポーツ大会
10月 31日	ハロウィンパーティー
11月 3日	バザー
11月 15日	日帰り旅行 (新江の島水族館)
12月 1日	ミカン狩り
12月 17日	クリスマス会
12月 22日	向上高校餅つき大会・チャリティーコンサート

(4) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 9日 9:30~	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
8月 26日 9:30~	避難訓練 (日中火災想定)	調理場より出火想定で訓練を行った。
9月 2日 10:00~	防災訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、炊き出しを行い、火災訓練、担架による搬出訓練を行った。
11月 25日 9:30~	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
12月 14日 9:30~	避難訓練 (日中火災想定)	娯楽室より出火想定で訓練を行った。
2月 17日 9:30~	避難訓練 (日中火災想定)	事務所より出火想定で訓練を行った。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

(5) 広報

「園だより」を3回発行した。

- ・第173号（6月8日発行） 新年度あいさつ・開園記念日・神奈川県障害者スポーツ大会・月間外出・いせはら芸術花火大会・一泊旅行避難訓練・婦人科検診・行事食・職員紹介
- ・第174号（11月9日発行） 行事食・納涼祭・伊勢原市障がい者スポーツ大会・一泊旅行・平塚七夕祭り・つくし移動販売・健康診断・職員研修・地引網・防災訓練・清川ホームサマーフェスティバル・40周年記念事業・職員紹介
- ・第175号（3月14日発行） ハロウィンパーティー・バザー・日帰り旅行・みかん狩り・クリスマス会・向上高校チャリティーコンサート・新年会・バレンタインデーデザート作り・職員研修グループ便り・フォトギャラリー・お知らせ・編集後記

常設記事

(6) 権利擁護、本人活動支援

① 利用者自治会

年間11回開催。旅行・納涼祭等の行事について話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。

② 人権委員会

年2回アンケート実施。利用者の呼称・利用者への情報提供・プライバシーの保護・インフォームドコンセントについて話し合った。

(7) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
4月 22日 17:00～	みどり園の食事について 講師：遠藤調理員・和田支援員	みどり園の食事について、厨房の現状等の説明を行い、食事状況について学んだ。
5月 27日 17:00～	障がい者支援における利用者理解 講師：平本 譲氏	利用者を知ることで、障がい者支援における利用者理解が深まり、日々の支援に活かされていくことを学んだ。
6月 24日 16:00～	組織の職員としての心構えについて 講師：和田支援員	グループワークを中心に、組織の職員としての心構え・直接的技能について学んだ。
6月 24日 17:00～	腰痛予防について 講師：藤井 誉行氏	法人内で開催し、腰痛予防体操等を行い、腰痛予防について学んだ。
8月 26日 17:00～	のど詰まりの研修 講師：和田支援員	喉詰まり時のマニュアルを使用し、喉詰まりセットの使用方法等について学んだ。
9月 27日 17:00～	防災研修 防災に係る説明	防災マニュアルを使用し、各種機材の使用手法や各種災害について学んだ。
10月 28日 18:30～	のど詰まりの研修 講師：和田支援員	喉詰まり時のマニュアルを使用し、喉詰まりセットの使用方法等について学んだ。
11月 25日 17:00～	ガウンテクニックについて 講師：和田支援員	ガウンテクニックのマニュアルを使用し、ガウンテクニックの方法等について学んだ。
11月 29日 13:30～	摂食・嚥下の基本と食事支援について 講師：松田 悦子氏	摂食の流れや体験実習を交え、摂食嚥下について学んだ。
12月 6日 18:00～	障がい者虐待の防止と権利擁護について 講師：鈴木 敏彦氏	不適切行為の事例等、障がい者虐待の防止と権利擁護について学んだ。
12月 23日 17:00～	防犯研修：不審者対応について 講師：小澤支援員・高橋支援員	不審者対応等防犯訓練を実施し、実際の不審者への対応等について学んだ。

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 延べ人数 206人 利用日数 753日 (平成30年度 177人 928日)

(2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業)

年間 延べ人数 1029人 (平成30年度 1004人)

(余暇活動支援事業)

年間 延べ人数 0人 (平成30年度 0人)

2019年度の課題に対する自己評価

- 1 法人40周年記念事業として、ソーラーシステムを導入する。太陽光発電パネルの設置工事等に当たっては、利用者の生活への影響を最小限にとどめるよう工事関係者と連携を図っていく。
⇒ ソーラーシステムの導入及び新電力への切り替えを行った。太陽光発電パネルの設置に際しては、工事関係者と事前協議をしっかりと行い、利用者の生活への影響は最小限にとどめることができた。
 - 2 より一層のサービスの向上を目指し、グループ編成の検討をさらに進めていく。
⇒ グループの再編成の検討を行い、4グループに体制を変更するとともに年度途中からは運動プログラムを中心に行った。引き続きグループ活動のあり方について検討して行きたい。
 - 3 防災や防犯の意識を高めるための大規模災害・防犯対策に取り組む。
⇒ 福祉避難所としての役割を再確認し、大規模災害を想定したシミュレーションを行った。また、伊勢原警察署の協力のもと、不審者対応訓練を実施し、防犯対策についての知識を高めることができた。
- ※ 新型コロナウイルス感染防止について
⇒ 年度末の2月頃から感染への危機意識が高まり、手洗いやうがいとともに新規の入所を延期する対応とし、通所や短期入所も受け入れを自粛する等、感染防止対策を行った。(緊急事態宣言が4月7日に発せられた後も同対応を継続している。)

Ⅲ 清川ホーム

1 指定障害者支援施設 清川ホーム

(1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	52	51	51
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
30年度 在籍数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53

(2) 行事

5月 11日	ふれあいフェスティバル
7月 20日	サマーフェスティバル in 清川ホーム 26
12月 17日	クリスマス会
1月 14日	どんど焼き
1月 28日	敬老の祝い (還暦1名、喜寿1名)
月例行事	みんなの会

グループレクリエーション

	日帰りレクリエーション
Aグループ	6月18日川越方面 / 11月 5日沼津方面
Bグループ	5月28日箱根方面 / 10月29日伊豆方面
Cグループ	6月 4日川越方面 / 10月 1日横浜方面
Dグループ	5月21日御殿場方面 / 10月15日箱根方面

(3) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 9日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全の確認、職員間の連携を目的とした訓練を行なった。浄水訓練も行なった。
5月 14日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:日中想定)	日中医務室からの出火を想定した避難訓練を行なった。消火栓訓練も実施した。
6月 11日 9:20～	避難訓練・炊き出し訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、テント設置、炊き出しを行い非常食で昼食。訓練後、反省会を実施し問題点を確認した。
7月 9日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:日中想定)	日中3階作業室からの出火を想定した避難訓練を行なった。消火栓訓練も実施した。
8月 6日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした訓練を実施した。浄水訓練も実施した。
9月 10日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	夕食後2階廊下からの出火を想定し、厚木消防署へ通報訓練を実施した。消火訓練も実施。
10月 8日 9:30～	避難訓練・炊きだし訓練 (地震:日中想定)	避難訓練後、セキュリティーの確認や、防犯システムの確認を行なった。
11月 12日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火は医務室。消火栓による消火訓練を実地した。
12月 10日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行なった。
1月 7月 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:日中想定)	日中の医務室からの出火を想定した避難訓練を行なった。除雪機の操作訓練を行なった。
2月 10日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行なった。
3月 10日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:日中想定)	日中2階支援室からの出火を想定した避難訓練を行なった。除雪機の操作訓練を行なった。

業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も2回実施した。

(4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第131号 (9月28日発行) サマーフェスティバル、春の日帰りレク、その他行事報告

第132号 (3月28日発行) 還暦・喜寿の祝い、秋の日帰りレク、その他行事報告

常設記事 作業収益報告、お知らせ、編集後記

(5) 権利擁護、本人活動支援

① あおぞらプラン (かながわ知的障害者権利擁護プラン) の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

② 苦情解決 (厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

年間10回の相談会を実施。延べ49名の利用者が相談した。食堂をオンブズマン相談会に利用し、相談者1人ひとり、順番に相談を行なった。相談内容については改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応した。

③ 本人活動支援 (厚木地区としての活動)

厚木地区の本人活動支援 (Aネット協力員) 運営会議に年間3回参加した。利用者研修会として、うどん作りに2名、カラオケに2名参加し、それぞれ楽しまれた。

④ 本人活動支援 (清川ホームとしての活動)

利用者の声を聞く会・答える会

年間12回実施。聞く会・答える会と交互に行なった。毎回食事や外出に関する希望が多く寄せられた。食事関係は栄養士、それ以外の意見は担当職員に確認してみんなの会にて返答した。アンケート箱は、参加できなかった利用者や答える事ができない利用者の代弁を書いて活用した。

(6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。人権についての研修、感染症予防・緊急時の対応についての研修、外部研修 (新人職員人権研修) の出張報告を行なった。

講師を招き、AED・心肺蘇生法の研修、不審者対応訓練、歯科研修、意思決定支援についての研修を行なった。

2 その他の事業

(1) 短期入所事業

年間 延べ人数 67人 延べ利用日数 1,146日 (平成30年度 80人 1,250日)

(2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 延べ人数・延べ利用日数 197人/年 (平成30年度 354人/年)

2019年度の課題に対する自己評価

- 1 ミュージックセラピーや椎茸・薪作業など充実した日課を提供し心身ともに健康的な生活が送れるよう配慮する。
⇒ ミュージックセラピーや各作業は、例年どおり提供できた。モニタリング会議の回数を増やし、一人ひとりの利用者の情報共有を徹底したことにより、より一層健康的な生活を提供することができた。
- 2 職員の利用者支援の技術が向上するよう、施設内外の研修を強化する。
⇒ 厚木警察署の協力のもと例年どおり防犯研修を行った。また、神奈川県の意味決定支援出前講座を依頼し、有意義な研修を実施することができた。
- 3 日頃の避難訓練が、万が一の時に生かされるよう利用者・職員共に防災意識の向上に努める。
⇒ 避難訓練は、厚木市消防本部の協力により、有事に近い設定で訓練することができた。防災対策や防火設備については他施設の状況を調査し理解を深めることができた。
- 4 支援員確保を進めると共に、支援体制を整え、今まで以上にチームワークを高めた、より良い職場を目指す。
⇒ 早急に必要な人材の確保はできたが、引き続き支援員の確保に努めていく。また調理の職員不足は解消でき、行事食や個人にあった食事を今まで以上に提供できるようになった。
- 5 これまで築き上げてきた地域との良好な関係を、さらに維持・発展できるように努める。
⇒ 開設30周年感謝状贈呈式を盛大に開催することができた。地域の方々との繋がりが、より一層強いものになった。
- 6 業務の見直し:危機管理の確認と徹底
⇒ 台風19号の影響による断水時には、昨年の停電時の断水の教訓を活かし、浴槽にトイレ用の水を貯めるなど緊急時の対応ができた。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

- ⇒ 年度末の2月頃から感染への危機意識が高まり、手洗いやうがいとともに新規の入所を延期する対応とし、通所や短期入所も受け入れを自粛する等、感染防止対策を行った。（緊急事態宣言が4月7日に発せられた後も同対応を継続している。）

IV 伊勢原ふたば保育園

1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

(1) 2019年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5
1才	13	11	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
2才	18	14	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15
3才	22	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
4才	28	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21
5才	30	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21
合計	120	89	93	93	93	93	94	95	94	95	95	95	95
	30年度	93	93	93	93	96	96	94	95	96	96	97	97

(2) 行事

4 月	1 日	新入園児歓迎会
	6 日	保育説明会・懇談会
5 月	25 日	5歳児プラネタリウム見学
	17 日	4歳児春の遠足（平塚総合公園）
	23 日	5歳児春の遠足（わんぱくランド）
	28 日	けやきの郷との交流会（4歳児） 1回目
6 月	31 日	3歳児春の遠足（防災の丘公園）
	10 日	田植え（5歳児）
7 月	28 日	けやきの郷との交流会（4歳児） 2回目
	1 日	プール開き
	4 日	七夕の集い
9 月	5 日	おたのしみ会（5歳児）
	13 日	夏まつり
	6 日	引き渡し訓練
10 月	5 日	運動会
	18 日	3歳児秋の遠足（里山公園）雨天中止
	21 日	稲刈り体験（5歳児）
	24 日	4歳児春の遠足（新江ノ島水族館）
	28 日	芋ほり（4, 5歳児）
11 月	1 日	5歳児秋の遠足（ズーラシア）
	8 日	みかん狩り（4歳児）
12 月	11 日	高森荘との交流会（5歳児）
	14 日	リズム発表会
	16 日	幼児交通安全教室
	20 日	歯科健康教育
1 月	24 日	クリスマス会
	17 日	新春マラソン大会
	21 日	新年の集い
2 月	28 日	防災センター見学（5歳児）
	30 日	石田小との交流会（5歳児）
	3 日	豆まき
3 月	13 日	消防署見学①（3・4・5歳児）
	14 日	消防署見学②（3・4・5歳児）
	3 日	ひなまつり
	6 日	5歳児卒園遠足（中井中央公園）
	17 日	お別れ会
	21 日	卒園式

※このほか毎月、身体測定・誕生会を行う。

※5月～6月・1月～2月に個人面談を行う。

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月12日 10:30	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難について紙芝居等を通して学んだ。
5月24日 10:05	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難となったが各クラス、スムーズに避難をすることができた。 (予告なし)
6月8日 10:00	避難訓練 (火災想定)	土曜日の異年齢の保育中の火災を想定して訓練を行った。 (予告なし)
6月28日 15:30	不審者対応訓練 (園内に侵入想定)	不審者が侵入したことを放送で聞き、各クラスは保育室の施錠を行い不審者には男性職員が対応する。 (予告なし)
7月29日 15:50	避難訓練 (地震・火災想定)	お昼寝明けの為、子ども達が混乱することなく速やかに避難することに注意しながら対応することができた。 (予告なし)
8月1日 9:20	避難訓練 (地震・火災想定)	幼児クラスは合同保育中の中、人数の把握に少し戸惑ったが職員の連携を取りながら速やかに避難をすることができた。 (予告なし)
9月 6日 9:45	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	5歳児を対象に広域避難場所(成瀬小学校)までの避難訓練の予定だったが、熱中症になる恐れがあったため、避難は見送ることにした。
16:00～	引渡し訓練	避難訓練と同時に、16:00に職場・家庭からお迎えに来てもらい、保護者への引き渡し訓練を行った。保育室の中を訓練用の煙で充満させた状態で避難体験を行い、より実際の避難に近い形で避難体験をすることができた。
10月23日 10:50	避難訓練 (台風・竜巻想定)	冠水も想定し、1階のクラスの園児は速やかに2Fホールに移動。幼児クラスの保育士も手伝いながら連携をとり対応することができた。 (予告なし)
11月 27日 15:30	避難訓練 (地震・火災想定)	当日は雨が降っていた為、戸外への避難は出来なかったが余震が2回続く想定としたので、いつもの想定とは違った体験ができた。 (予告なし)
11月28日 10:30	不審者対応訓練 (散歩中の想定)	不審者が近づいてくるのを確認し、速やかに園に連絡をし避難することができた。 (予告なし)
12月27日 17:30	避難訓練 (落雷停電想定)	停電後、各クラスのランタンを使用しながら、安全に避難することができた。 (予告なし)
1月20日 14:50	避難訓練 (Jアラート想定)	ミサイル発射にともない、Jアラートが鳴ったのを確認し、園内放送にて各クラスに伝え避難体制をとった。 (予告なし)
1月28日 10:00	不審者対応訓練 (園児対象不審者対応指導)	園児対象に不審者と遭遇した時の対処法や約束を指導する。 (予告なし)
2月25日 18:20	避難訓練 (地震想定)	夕方の延長保育時間中の地震発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。 (予告なし)
3月28日 10:00	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、広域避難場所(成瀬小学校)まで速やかに避難することができた。 (予告なし)

(4) 広報

- | | |
|--------------|-------|
| ○園だより、クラスだより | 毎月発行 |
| ○保健だより | 年4回発行 |
| ○ホームページの更新 | 随時 |

2 その他の取り組み

(1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 9件 (平成30年度 13件)
施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

① 園庭開放

園庭を地域の子育て同士の交流や相互の情報交換の場として開放した。また、保育園児との交流を図った。

② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

年4回成瀬地区の子育て支援の取り組みとして、成瀬中学校の学区にある教育機関の教職員で構成している「伊勢原市教育センター 地域にある教育機関等連絡協議会 Bブロック」に当園も参加。地域の挨拶運動を重点に、のぼり旗を輪番で設置するなど交流を行った。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

○7月23日・24日・25日 2名

○7月30日・7月31日・1日 2名

○8月 6日・7日・8日 2名

○8月21日・23日・24日 2名

市内在中の中高生に、夏休みを利用した保育体験を通して、生命の大切さとともに、保育園や保育士の仕事を理解できるよう体験してもらった。

エ 世代間等交流事業

○5月28日・6月28日 湘南けやきの郷との交流会
湘南けやきの郷に4歳児が訪問し、利用者の方と歌・手遊びなどのレクリエーションやプレゼント交換を行い、交流を図った。

○11月11日 ケアセンター高森荘との交流会
湘南けやきの郷と同様の交流を行った。

(2) 一時預かり事業

利用状況 (延べ利用人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
31年度	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3人
30年度	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	4人

(3) 職員研修

就学相談については、就学に向けた園児達や保護者の支援を目的に教育センターの方に就学までの流れや就学後の状況などを教えて頂きました。また、渋谷先生の研修では改めて保育の奥深さや重要性を知ることができた。

(園内研修)

月 日	内 容	受講人数
5月13日	就学相談について (伊勢原市教育センター)	15人
6月 4日	0, 1歳児の触れ合い遊び (乳児クラス担任)	全職員
6月21日	音楽・リズムの取り組み (各クラス)	10人
7月 2日	AED講習 (伊勢原市消防署)	全職員
11月27日	最近クローズアップされている教育論等 (渋谷先生)	全職員
1月31日	社会性・主体性を育てていくために (渋谷先生)	20人
3月 5日	自己評価まとめ (主任)	20人

(外部研修)

月 日	場 所	内 容	対 象
6月4日 (1月8日)	港南台	新任保育士研修 「保育士になったみなさんへ」「コミュニケーション技術を学ぶ」計2回	保育士
6月15日	横浜	乳幼児保育 「質を高める保育とは？」	保育士
6月17日 (7月16日)	港南台	3歳児保育研修 「3歳児の社会性と集団との関わり」「3歳児の発達と保育」計2回	保育士
6月18日 (7月8日)	港南台	2歳児保育研修 「2歳児の体と心の育ち」「遊びで育つ学びの芽」 計2回	保育士
6月26日 (8月7日)	港南台	1歳児保育研修 「1歳児の社会性と自我の芽生え」「1歳児の発達特徴」 計2回	保育士
7月22日 (9月2日)	港南台	0歳児保育研修 「0歳児の遊びと保育士の役割」「0歳児の発達と特徴」 計2回	保育士
7月26日 (9月12日・ 10月23日)	港南台	主任保育士講座 「リーダーの為のコーチング講座」「保育者の為のコミュニケーションスキル」「リーダーに求められる役割と実践的スキル」 計3回	保育士
8月29日	秦野	食品衛生講習会	調理員
8月30日 (10月17日)	港南台	4.5歳児保育研修 「4.5歳児の発達特徴」「子どもの体と心」 計2回	保育士
10月15日 (11月21日・ 12月18日)	港南台	保健衛生・安全対策講座 「感染症対策」「保育所における事故防止」「乳幼児救急法」 計3回	調理員
1月20日	港南台	保育に求められるリーダーシップの育成	保育士
1月31日	伊勢原	保育所給食研修会	調理員
2月14日	横浜	保育所における食事の提供ガイドライン	調理員
2月25日	横浜	労働関係講演会	保育士

近隣で行われる研修には積極的に職員を派遣し、職員会議において研修報告を行った。

2019年度の課題に対する自己評価

- 1 保育所保育指針の改定を踏まえた保育を実践していく
 - ⇒ まだ十分には保育所保育指針を踏まえた保育の実践というところまではできていないが、指針を基礎に子ども達の成長と共に個性豊かな保育運営を行うことができた。

- 2 職員一人ひとりの専門性を高め、保育全体の向上に努める
 - ⇒ 研修などで得た知識を実際に保育の現場で実践したり職員全体に周知することで資質の向上に努めることができた。

3 地域育児センターとしての機能を充実していく

⇒ 園庭開放では地域の方々が定期的に来園される姿も見られた。また、一時預かり事業では、職員の配置や受け入れ時間などで、断ることが多かったが、受け入れ可能な範囲以内での受け入れに努めた。

4 より安全・より安心な保育運営に取り組む

⇒ 保護者とのやり取りでは、担任を中心に各家庭の背景を考慮しながら子どもを第一に考え関係を築くことができていた。また、園児の健康面では担任と保護者、看護師が連携しながら取り組むことができた。

5 開園20周年の節目を機に保育全体を見直し、保育内容を充実させていくと共にタウンニュースに保育に関する掲載を行う。

⇒ 各職員からの意見を吸い上げ検討したり、職員会議の中で保育全体の見直しができる機会を設けるようにした。タウンニュース掲載の内容は検討したが最終的に次年度への持ち越しとなった。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

⇒ 年度末の2月頃から感染への危機意識が高まり、手洗いやうがいとともに新規の入所を延期する対応とし、通所や短期入所も受け入れを自粛する等、感染防止対策を行った。（緊急事態宣言が4月7日に発せられた後も同対応を継続するとともに園児の登園自粛について要請を行った。）

また、園児はマスクの着用は難しく、濃厚接触は避けられないため、保育室の消毒の徹底や給食時・午睡時に園児間の間隔をあける等といった様々な対策を行った。

また、卒園式では出席者を限定しつつも園児や家族の思い出に残るよう心を込めた設営を行った。

V 本厚木ふたば保育園

1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

(1) 2019年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3
1才	13	7	7	7	7	8	7	7	8	8	8	8	8
2才	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3才	13	11	11	11	12	12	11	11	11	11	11	11	11
4才	14	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	14
5才	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
合計	79	58	58	58	59	61	60	60	61	61	61	61	61
30年度	79	55	55	56	57	58	60	61	62	62	62	62	63

(2) 行事

4月 1日	入園・進級式	1月10日	新春の集い
5日	保育説明会及び懇談会	30日	ブラッシング指導
5月10日	遠足（ぼうさいの丘公園 3歳以上）	14日～2月28日	個人面談
13日	さつまいも苗植え	2月 3日	豆まき
5月 7日～6月22日	個人面談	14日	お店屋さんごっこ
6月4日	プラネタリウム	3月 3日	ひなまつり会
7月 5日	七夕の集い	6日	思い出遠足（三川公園）
13日	夏まつり	13日	ひまわり組を送る会
9月 6日	引渡し訓練	19日	卒園式
10月15日	乳児運動会	31日	修了式
17日	幼児運動会（12日が雨天のため）		
18日	お楽しみ会		
25日	安全指導教室		
11月 1日	クラス懇談会	*各月に、誕生会、身体測定	
15日	消防署見学	避難訓練などを実施	
22日	秋の遠足（麻溝公園）		
12月21日	クリスマス会発表会	*年2回 内科健診、歯科健診	

(3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月 9日 9:30～	避難訓練 (凶上、地震・火災想定)	各クラスで避難・消火・通報について紙芝居などを通して話し合った。乳児クラスは保育士の動きを確認した。
5月14日 9:30～	避難訓練 (地震想定)	各クラスで防災頭巾の被り方の説明をした。避難通路までの避難訓練を行った。3・4・5歳児は園庭へ避難した。
6月11日 予告なし	避難訓練 (火災想定)	園内放送をよく聴き、落ち着いて行動する訓練を行った。
6月18日 予告なし	避難訓練 (不審者想定)	不審者から子どもを離し、侵入者の目に触れないように避難した。
7月 9日 予告なし	避難訓練 (火災想定)	園庭からの火災を想定し、放送を聴いて保育士の指示で行動した。
8月 6日 14:55～	避難訓練 (地震想定)	午睡中の地震発生を想定して、訓練を行った。
9月 6日 予告なし	避難訓練 (地震想定総合訓練)	16:00に警戒宣言発令を想定し、SNSで保護者に連絡。
16:30～	引渡し訓練	発令を受けてからの、保護者対象の引渡し訓練を行った。さつき公園での引き渡しを実地した。
10月 8日 17:00～	避難訓練 (火災想定)	遅番の時間帯の避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
11月12日 10:30～	避難訓練 (地震想定)	園外活動(散歩)中の避難訓練を行った。スムーズに避難でき、園に連絡できた。
12月10日 8:30～	避難訓練 (火災想定)	給食室からの火災を想定し、放送を聴いて園庭まで避難した。
1月15日 予告なし	避難訓練 (火災想定)	予告なしで園内放送で避難した。
2月13日 予告なし	避難訓練 (地震想定)	早番の時間帯での避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
2月18日 予告なし	避難訓練 (不審者対応)	実際に不審者役が侵入し、速やかに避難した。
3月10日 16:00～	避難訓練 (火災想定)	火災現場を把握し、適切な避難ができるようにした。(予告なし)

(4) 広報

- 園だより、毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページ内の「園内イベント紹介」は、行事を行うごとに更新した。

(5) 職員研修

*外部研修

4月 13日	新任保育士激励会
5月 30日	給食施設の衛生管理について 危害分析重要管理点に沿った衛生管理
6月 10日	食育計画の作成と活用 保育園における子どもたちの食育について
7月 25日	目標栄養量の設定方法と献立作成手順～献立力を高める～
8月 3日	ワンダーサマースクール
9月 28日	赤ちゃんの育て方
11月 16～17日	秋の保育総合研修
1月 25日	赤ちゃんの育て方
31日	食事による栄養摂取量の基準

*内部研修

6月 20日	子ども安心安全対策について
10月 29日	最近の教育論(保育論)から自園の保育内容を考える
1月 16日	乳幼児の発達からみる気づきポイント44
2月 20日	気づきポイント44からみる

※年間通して それぞれの研修発表

2 その他の取り組み

① 和太鼓への取り組み

年長児が、運動会での発表に向けて、和太鼓に取り組んだ。
全学年で取り組めるよう、外部指導者を招き、楽しみながら音の感覚を養えた。年間を通して続けられるよう、職員の技術習得をもっと考えていきたい。

② 厚木看護専門学校訪問

看護学生の手作りおもちゃで遊んだ。実習に来ることもあり、互いに考えを共有したいねらいもある。0歳児から参加して楽しむ事ができ、実際に園でも作成してお店屋さんごっこで披露し、楽しんだ。職員にも良い刺激になる催しである。

③ 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践

職員全体で研修に出かけ、共有できるようにし、子ども達が楽しみながら取り組めるようにした。
毎日取り組むことで、子ども達の体幹を鍛え、心身共に成長していく事ができるよう、心掛けた。

- ④ 栄養士を迎え、独自のメニューを取り入れながら、食育に取り組み、子ども達の食に対する意識付けをより一層高めるようにした。
行事に対してや、日本の古くからの習慣など、家庭では得られないものも、大いに取り入れた。実際に調理器具なども使用したり、おやつを作り配膳したりと子ども達が興味を持ちながら取り組めるようにした。味噌作りは、熟していく様子を見たり、実際に給食で食べたりして一層興味を持つことができた。

2019年度の課題に対する自己評価

- 1 本厚木ふたば保育園のめざす保育を共有し実践する。
⇒ 子どもたち、一人ひとりの個性を大切に、良い面を伸ばせるように、丁寧な保育をするという事を共有するため、職員全体で研修に参加したり、保育方針を確認したりした。また、さくら・さくらんぼのリズムを保育に取り入れた。
- 2 「新保育指針」を受けて、新しく掲げられた教育的要素も含め、職員の相互理解に更に活用する。
⇒ 研修を通して職員の「保育指針」の相互理解を得るように努め、指針に基づいた保育に取り組んだ。
- 3 地域の特徴を出し、地域に溶け込んだ保育園を目指す。
⇒ 日々の保育に追われたり、余裕がなかったりしたため、地域の子育て支援は充実できなかったが、公園で地域の方と一緒に遊び、地域内の他園との交流はできた。なお、厚木市が取り組んでいる、おむつ替えや授乳のできる赤ちゃんの駅「ベビリア」としての提供はできた。
- 4 真心保育で、安心・安全な保育園運営ができるように職員が一丸となって取り組む。
⇒ 保育士としての自覚の向上を図り、子ども達一人ひとりに対し丁寧に、より安心安全な保育を目指した。目指す目標を明確にし、全職員で取り組めるように心がけた。
- 5 緑友会の設立40周年という節目を機に、タウンニュースに保育に関する掲載を行う
⇒ 掲載するべく計画を進めたが、次年度に引き継ぐことになった。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

- ⇒ 年度末の2月頃から感染への危機意識が高まり、手洗いやうがいとともに新規の入所を延期する対応とし、通所や短期入所も受け入れを自粛する等、感染防止対策を行った（緊急事態宣言が4月7日に発せられた後も同対応を継続するとともに園児の登園自粛について要請を行った）。
また、3月に行った、ひなまつり会や遠足・卒園式等は、高い緊張感の中だったが、子どもたちの良い思い出となるよう努力した。

VI げんき家

共同生活援助事業

1 設置場所

伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号 利用者 4名

2 利用者に対する支援

知的障がいのある者が、地域で自分らしく生きることができるよう暮らしのサポートを行い、交流、共感、体験を念頭に、利用者の立場に立ったサービスを提供した。

3 ホームの1日

時間	主な内容
7:00	起床 朝食 出勤 【職場、施設、作業所など】
17:30	帰宅 (世話人と夕食づくり)
18:30	夕食 (世話人と食器片付け)
19:30	入浴 自由時間 就寝

※ 休日は、自由行動。(帰宅、買い物、趣味嗜好の外出など)

大きな事故等もなく、利用者の地域生活に密着した支援ができた。

バックアップ施設となっているみどり園の職員と世話人との協力体制のもと、土日の食事提供を行いながら利用者の状況把握に努めた。

2019年度の課題に対する自己評価

- 1 入居者の特性について理解を深め、管理者兼世話人と連携を図る。
⇒ 入居者との関係性も良好であり、入居者の特性についての理解がより一層深まり、管理者兼世話人との連絡調整も円滑にできた。
- 2 高齢入居者の健康管理に重点を置きながら、一般就労している方の就労継続を支援していく。
⇒ 高齢入居者の健康管理を重点課題と位置づけ、必要に応じて通所先への送りだしの見守り等も行っている。
- 3 職員は、法人内外の研修参加を継続する。
⇒ 法人内外の研修に参加した。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

⇒ 自宅待機をやむなくしているが、入居者が穏やかな性格のため大きな心配や不安は感じないが、管理者及び世話人はウィルスを持ち込まないよう細心の注意を払っている。

Ⅶ つくし 就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

1 利用者数 (月別の開所日数、1日平均利用者数)

2019年度実績

登録者平均利用率 48.65%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	28	25	27	27	25	27	26	24	23	22	24	25.3
登録者数	50	48	49	47	47	46	47	48	50	49	49	49	48.3
延利用者数	611	572	601	642	543	539	634	614	628	571	542	632	594.1
平均作業工賃	13,779	13,493	12,861	14,404	16,448	13,127	13,720	12,473	18,663	11,798	12,652	14,045	13,834

平成30年度実績

登録者平均利用率 45.81%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	25	26	24	25	25	28	26	25	25	23	26	25.3
登録者数	50	50	51	51	51	50	51	53	52	50	50	50	50.8
延利用者数	588	618	617	614	578	531	642	614	563	552	542	607	588.8
平均作業工賃	12,044	12,323	12,605	12,624	15,832	11,399	13,692	12,872	17,514	11,957	11,983	14,149	13,209

※ 登録者平均利用率 = 延利用者数 ÷ (登録者数 × 開所日数)

2 作業内容

施設内作業

自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、
検品、段ボール組立、小型家電リサイクル解体

施設外就労

出向先の施設清掃/倉庫内での蓄冷材洗浄、カタログ仕分け等

自主事業

オリジナルカレンダー・絵葉書・手芸品等の販売・リサイクル品販売など

3 その他の活動

就労支援活動

SST (社会生活技能訓練)、一般企業に就労実績 4名 (30年度 3名)

実習生受入

東海大学健康科学部看護学科・社会福祉学科、田園調布学園大学・子ども未来学部子ども未来学科・人間福祉学部社会福祉学科

4 行事

4月 1日	花見 (秦野市中央運動公園)
19日	東海大学健康科学部看護学科体験発表 (東海大学伊勢原キャンパス)
5月 15日	スポーツ交流会 (秦野・伊勢原地区 秦野市総合体育館)
19日	西湘地域統一メーカーバザー (平塚市総合運動公園)
6月 6日	日帰り旅行 (群馬サファリパーク)
18日	みどり園衣類訪問販売
7月 5日	平塚七夕見物
6日	ほっぷすてっぷガレージセール (サンライフ鶴巻)
30日	家族の集い (つくし)
8月 1日	蕎麦打ち体験 (食堂)
23日	わいわいマーケット映画会 (伊勢原市民文化会館)
24日	みどり園納涼祭
27日	暑気払い (すたみな太郎)
9月 25日	バーベキュー大会 (県精連秦野足柄上地区 表丹沢野外活動センター)
27日	湘南西地区苦情解決委員会第三者委員訪問
28日	伊勢原市障害者スポーツ大会 (伊勢原市体育館)
10月 4日	西湘地区障がい者就職面接会 (小田原アリーナ)
5・6日	道灌祭 (つくし敷地内)
17日	精神保健福祉ボランティア基礎講座 (当事者体験発表等 シティプラザ)
11月 12日	日帰り旅行 (横浜中華街方面)
15日	ハートメッセージ (秦野市文化会館)
12月 3日	「障害者週間」街頭啓発キャンペーン
4日	みくるべバザー (みくるべ病院)
7日	ふれあい福祉まつり (すこやか園・ドリーム)
10日	みどり園衣類訪問販売
12日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
13日	神奈川県精神障がい者ボウリング大会 (湘南東急ボウル)
1月 6日	初詣 (伊勢原大神宮)
2月 3日	伊勢原大神宮節分祭
14日	梅見会 (別所梅林)

※ その他、絵手紙教室、運動プログラム、街頭募金、初詣など

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月25日	避難訓練(地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。
3月10日	避難訓練(火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

2019年度の課題に対する自己評価

- 1 施設内作業として受注している作業の種類や量が増加しているため、作業状況の見える化を行い、業務効率化や生産性向上を図る。
⇒ 施設内の整理整頓や、パソコンに作業管理表を入力し作業の進捗が見える化し、職員で情報共有したことで、作業効率が上がり、上半期は目標収入額を達成できたが、年末に毎日発注いただいていた作業がなくなったことで作業収入減となり、利用者の工賃を上げることができなかった。安定していただける作業を獲得し、今年度の工賃アップを目指したい。
- 2 スーパービジョン体制(「支持的機能」「教育的機能」「管理的機能」)を整えることを目指す。
⇒ 職員全員を対象にスーパービジョン基礎研修、スーパービジョン面接を実施し、スーパービジョン体制を理解してきた。今年度も「支持的機能」「教育的機能」「管理的機能」をさらに意識して、スーパービジョン体制を整えていきたい。
- 3 昨年度より、つくしの見学希望者が減っていることから、見込み層(働きたい)と潜在層(知らない)につくしを認知してもらうために、一般企業への就労実績や職員の専門性を活かした対策を検討し、利用者の獲得を図りたい。
⇒ ホームページ以外に、リタリコ仕事ナビ事業所運営サポートに登録し、一般企業への就労実績や専門性の高い支援等の情報を発信することで、利用者の見込み層と潜在層の見学者が増加した。見学者のみならず、企業から仕事発注の相談もリタリコ仕事ナビサイトを通していただくこともあり高い効果を得ることができた。今年度も引き続きリタリコ仕事ナビサイトを使用し、さらにホームページをリニューアルして、利用者獲得と企業へのPR活動を行いたい。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

- ⇒ 年度末の2月頃から感染への危機意識が高まり、手洗いやうがいとともに通所や体験入所の受け入れを自粛する等、感染防止対策を行った。(緊急事態宣言が4月7日に発せられた後も同対応を継続している。)
また、作業や食事の際に3蜜状況にならないよう配慮するなど感染防止対策の徹底に努めている。

Ⅷ アトリエ ヴェルデ

就労継続支援B型事業所

定員 20名

所在地 伊勢原市高森1422-7

1 利用者数(月別の開所日数、1日平均利用者数)

2019年度実績

登録者平均利用率 89.39%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	22.5
在籍数	24	24	25	25	24	24	24	23	23	23	23	25	23.9
延利用者数	485	476	477	490	441	435	476	432	440	443	403	476	456.2
平均作業工賃	14,916	15,335	18,657	15,476	13,936	14,450	14,886	15,578	20,899	15,270	14,147	15,745	15,769

平成30年度実績

登録者平均利用率 86.06%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	22.4
在籍数	26	26	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	25.6
延利用者数	468	512	497	507	476	468	494	516	506	502	458	518	493.5
平均作業工賃	13,737	14,699	14,213	15,106	14,217	14,222	14,780	15,780	14,558	14,907	14,175	15,501	14,660

※ 登録者平均利用率=延利用者数÷(登録者数×開所日数)

2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組み立て、化粧箱組立、ダンボール組立

3 その他の活動

実習生受入 伊勢原養護学校実習生受入

七沢学園実習生受入

教員見学受入 伊勢原養護学校教員見学受入

4 行事

4月 4日(木)	お花見
4月 13日(土)	保護者会
5月 11日(土)	ふれあいフェスティバル
6月 6日(木)	日帰り旅行
7月 11日(木)	暑気払い
9月 3日(火)	防災訓練
9月 28日(土)	伊勢原市障害者スポーツ大会
10月 10日(木)～10月 11日(金)	一泊旅行(栃木日光方面)
10月 19日(土)	保護者会
12月 12日(木)	忘年会
1月 18日(土)	初詣
2月 6日(木)	防災訓練

5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月3日	神奈川県総合防災センター	防災センターにて地震体験、風水害体験等行った。
2月6日	避難訓練 (地震、火災想定)	混乱なくスムーズに避難できた。

2019年度の課題に対する自己評価

1 利用者の支援体制の充実と工賃の向上を図る。

⇒ 利用者支援の基となる個別支援計画の見直しを年度途中から行い、利用者のニーズに沿った支援ができる明確な目標設定を行うよう心掛けた。今年度の個別支援計画も利用者に分かりやすく、達成できる目標設定を考えていきたい。

年度途中にクリーニング作業の施設外就労の工賃も上がり、少しではあるが施設外で就労している利用者の工賃の向上につながった。

2 利用者の就労支援と就労後の定着に関する支援を強化する。

⇒ 昨年度4月に富士ゼロックスに1名就労したが、8月末で本人都合で退職となってしまった。今年度も引き続き就労支援と定着強化を努めたい。

3 職員が理念、方向性を共有し、施設内研修、施設外研修に参加し支援技術、モラルの向上を図る。

⇒ 施設外研修や法人内の研修に参加し支援技術の向上に努めたが、支援より工賃向上のために作業中心となることが多いため、利用者本位の支援と支援技術の向上に努めたい。

4 安定した運営を図る。

⇒ 昨年度は年度途中に利用者が2名退所し月平均19名となったため、利用者の増員を図った結果、今年度当初では登録者を5名増やすことができた。

5 「つくし」との連携協力強化を図る。

⇒ 取引先の共有、作業に関する情報等の交換を行ったが、職員の交換研修や事業所相互の見学等は行なうことができなかった。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

⇒ 年度末の2月頃から感染への危機意識が高まり、手洗いやうがいとともに通所や体験入所の受け入れを自粛する等、感染防止対策を行った。（緊急事態宣言が4月7日に発せられた後も同対応を継続している。）

また、利用者と保護者に通所自粛のご理解をいただき、毎日の利用者数を抑制し、感染防止対策に努めている。

Ⅹ つくし相談室

相談支援事業

1 開所日数

267日（H30：269日） 1日平均相談件数 25.1件（H30：26.3件）

2 相談実績

（1）相談実人数（障害者手帳の区分）

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2019年度	13	0	66	132	2	0	0	213
2018年度	15	0	87	128	2	0	1	233

（2）相談登録者数

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2019年度	17	0	132	155	3	4	0	311
2018年度	16	0	133	151	3	4	1	308

（3）支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	総数
2019年度	743	703	186	3,144	1	29	1,909	6,715
2018年度	656	781	153	2,799	4	28	2,661	7,082

主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画） 4,263 件
- ・健康医療に関する支援 3,981 件
- ・家族関係・人間関係に関する支援 2,859 件
- ・就労に関する支援 1,061 件
- ・その他 4,656 件

3 相談実績の分析とその対応

2019年度は前年度に引き続き相談実人数、支援方法は減少したが、新規、更新利用者とも訪問、同行、サービス担当者会議など行い、福祉サービスの利用調整など一人ひとりに時間をかけてより丁寧な支援ができたと認識している。また「つくし相談室のあり方」に基づき、現在の支援の状況や職員の負担感を精査・分析をし、業務の改善点の協議を行った。

各種福祉制度の狭間で生活に困難をきたしている支援を要する方に対しては専門的な援助知識・相談技術を活用して迅速にきめ細やかな援助を行う「かながわライフサポート事業」で相談は複数、実際の支援は1件あった。

※「つくし相談室のあり方」・登録利用者の件数、支援内容を分析し、定期的な支援の見直しを行うなど職員の業務の負担感を減らすよう対策し、適正な支援を行う方向性を示したつくし相談室の業務方針。

2019年度の課題に対する自己評価

1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談への対応

「つくし相談室のあり方」を方針として、適切かつ丁寧な支援を行っていく。

⇒ 利用者及び家族に対し、きめ細やかに丁寧な支援を行うことができた。

「つくし相談室のあり方」に基づき、職員の業務の負担度を客観的に評価できるように数値化したデータを作成し、職員会議で定期的にデータの精査を行ない、改善点などを協議した。

また、つくし相談室の支援の方針を明確にするため、「基本方針」「支援内容」を2018年度に定義し、それを遵守した。

2 関係機関との連携

関係機関との綿密な連携を基本として、相談員がケースを抱え込むことなく「役割分担」を明確にして支援を行う。

⇒ 引き続き関係機関と日頃から情報共有し、利用者の支援を行ってきた。

また必要に応じて支援会議を行い、支援内容に対しての役割分担や今後の方向性などを議論し、利用者の意向を踏まえた支援ができたと考えている。

加えて神奈川県相談支援強化事業（コンサルテーション事業）に参加し、具体的な事例に対する精神科医などからの専門的な助言をいただき、クライシスプランの作成や今後必要と思われる新たな社会資源の提案などについて議論できた。

3 生計困難者に対する相談支援事業「かながわライフサポート事業」について引き続き円滑な運営に努める。

⇒ （福）神奈川県社会福祉協議会のホームページに「かながわライフサポート事業」の指定施設として情報提供を行っているが、昨年度は相談が数件と支援が1件あった。その利用者は精神障がいがあり、失業で一時的に生活が困窮したため、電気代等のライフラインの支払いなどの支援を行った。今後も同じような困窮状態になる可能性があるため、金銭管理など支援する成年後見制度の導入なども検討している。また、地域ごとにコミュニティソーシャルワーカーの研修を実施し、地域の実状にあった支援が行えるよう、県社協や周辺関係機関との連絡、連携を強化している。

※ 新型コロナウイルス感染防止について

⇒ 相談に来られる利用者にも手洗いやマスク着用に協力いただき、感染防止には細心の注意を払っている。

X 施設間連携室

1 設置場所

伊勢原市栗窪605-1 (みどり園内)

2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸し出し調整等

3 実績報告

年月日	件名	貸出物品	貸出先
31. 4. 25	プラネタリウム見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 5. 10	遠足 (ぼうさいの丘公園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
1. 5. 11	ふれあいフェスティバル	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
1. 5. 13	さつま芋苗植え (みどり園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
	さつま芋苗植え (みどり園)	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園
1. 5. 17	遠足 (平塚運動公園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 5. 23	遠足 (わんぱくランド)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 5. 28	地域交流会 (湘南けやきの郷)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 5. 31	遠足 (ぼうさいの丘公園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 6. 4	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
1. 6. 6	日帰りレク	日産マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
1. 6. 11	田植え (加藤花園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 6. 28	地域交流会 (湘南けやきの郷)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 9. 3	防災センター見学	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
1. 9. 25	県精連バーベキュー	三菱マイクロバス	つくし
1. 9. 26	さつま芋掘り (みどり園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
1. 10. 18	お楽しみ会 (神奈川水道記念館)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
1. 10. 21	稲刈り (加藤花園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 10. 24	遠足 (新江ノ島水族館)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 10. 28	さつま芋掘り (みどり園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
1. 11. 1	遠足 (ズーラシア)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 11. 8	みかん狩り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 11. 11	地域交流会 (高森荘)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
1. 11. 15	リズム研修会	キャラバン	本厚木ふたば保育園
1. 11. 22	遠足 (相模川ふれあい科学館)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
1. 11. 29	遠足 (麻溝公園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2. 1. 28	防災センター見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2. 1. 30	石田小交流会	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2. 2. 13	消防署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
2. 2. 14	消防署見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
2. 2. 18	ゴミ出し	軽トラック	伊勢原ふたば保育園
2. 3. 6	遠足 (中井中央公園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2. 3. 6	遠足 (三川公園)	日産マイクロバス	本厚木ふたば保育園

マイクロバス送迎の調整については、各事業所がきちんと予定表を作成したことにより、スムーズに対応することができた。

連携室専従職員を配置し、各事業所の予定に沿ったマイクロバス運転等に従事することができた。また、各施設の小修繕等の応援体制も確立することができた。

他事業所の職員がマイクロバスの運転免許を取得し、運転に従事するようになったので、さらにマイクロバス運行計画も組みやすくなった。

2019年度の課題に対する自己評価

- 1 施設間でのマイクロバス送迎や貸出の調整、小課題の問題解決に向けた取り組み、みどり園花壇農園での保育園さつま芋掘りの手伝い等を中心に行っていく。
⇒ マイクロバス送迎や貸出の調整については、各事業所の予定表を作成しスムーズに対応することができた。小課題の問題解決に向けた取り組み、みどり園花壇農園での保育園児によるさつま芋掘りの手伝い等は予定どおり行えた。さつま芋の発育もよく、例年並みの収穫量を確保することができた。
 - 2 マイクロバスの稼働率を高められるよう、シルバー世代やボランティア運転手の開拓を行っていく。
⇒ シルバー世代の運転員を1名採用することができたが、ボランティア運転手の活用はできなかった。なお、マイクロバスの免許を取得している他事業所の職員によって運行計画は組みやすくなり、一定の稼働率を確保することはできた。
- ※ 新型コロナウイルス感染防止について
⇒ 車内の消毒を徹底するとともに、車内換気に心がける等、細心の注意を払っている。